鳥井家公私之日記

（天保７年１月）

〔ホームページ掲載元〕
豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」
http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/

〔二次利用にあたって〕
この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。
二次利用(掲載・展示等)される場合は申請書の提出が必要です。

〔問合せ先〕
豊岡市　文化振興課　文化財室
〒669-5305　兵庫県豊岡市日高町祢布 808
電　話　番　号：0796-21-9012
ファクス番号：0796-42-6112
メールアドレス：bunkazai@city.toyooka.lg.jp
※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

大　二四五七九十一

小　正三六八十十二

[illegible]井田[illegible]安[illegible]正月八日

△[illegible]大[illegible]正月九日

天保七年

△伊[illegible]正月十二日

△[illegible]日十二ゞ廿日

不[illegible]府中[illegible]正月十五日

△[illegible]正月廿四日

[illegible]上正月廿四日

△[illegible]不幸正月廿五日

[illegible]二月二日

△祖道信士[illegible]石碑二月九日

公私之日記

[illegible]先生[illegible]二月九日

△久保町[illegible]二月廿[illegible]日

[illegible]二月廿五日

△松[illegible]上京[illegible]二月七日

丙申正月

[illegible]三月廿[illegible]日

[illegible]寺[illegible]三月廿[illegible]三月二[illegible]

町奉行
堀甚右衛門殿

町下役
神矢安八殿

同
尾崎右衛門殿

小頭
四方小左衛門殿

荒町竹屋町（名主呉服町） 今井三右衛門
中町名主 由利六左衛門
寺町久保町名主（町分庄屋呉服町） 鳥井忠左衛門
吉田町名主 福井八郎左衛門
小荒浜町名主（酒屋） 吉左衛門
新町名主（六方屋） 茂左衛門
小田井町名主（桶屋） 伝兵衛
京口町名主（塩屋） 善左衛門

正月小

元日 丁酉 快晴天

月番 福井八郎左衛門

一早朝吉方ヘ若水ヲ汲家内并拙者家来迄三献雑煮祝盃事致ス午

一麻上下着用山王社祈念所町宮社参詣高寿寺参詣町大庄屋中年始御役所同並部八郎右衛門廻り候寺町所賀安年定例年玉

同 退凡喜院 来迎寺 立正寺 二ヶ寺

同 文殊院 大宝寺 隣光寺 千寿院 光福寺
自性院 大石氏 高木氏

二十村々先年御検地之節小分究

自分屋敷御免六分

右之通　是ハ宿役分

高井備前殿

大石兵庫殿

高木氏

年番　長谷川

一 両部寺持離庵役去方々罷御改之

一 花見山三ケ村松本ケ所每人改之

一 松本町高姫謡御改之

二日（戌）天気良

三日（亥）少雨天

一 両部家内寺持雑庵役々

一 右之役貝出寺瑞泉寺誠町之大番寺町高白町
中町半久佐町半分ヶ札奉節七ヶ村御へ付之安堵

一 山三ケ村松本町名主分ヶ札奉節々

覚

一 高井殿御役之御文明老松本石津老太
三人え明日御札差出筈　長谷庄

久保町北上四　市兵衛

川上長尾　宮之助

一 川船差配ノ

一 方御師

（本町組頭名主 又右衛門
久保町名主 七兵衛）

右ハ道中記録之通

正月三日　名主太兵衛

福井八郎左衛門殿

一 支配下ニ而九去来寄ゟ者寄合ニ而書

四日（天気曇）

一 右ハ御宿算被為 難儀為被下ゟ

一 右役之人足例年之通り当町ゟ出人ニ而暁六ツ

時山方諸役所改事ハ出ス

一 右組ニ付十町名主 清月見 清月通り町人

清上様ハ御役所同右筆所ハ留守居ゟ出

但 本堂社家山伏 醫師方

清月見し百姓中ハ右之者共

一 右町方諸し右年始節ハ町代在仕舞候ゟ

修安平

五日　天晴

一本宝懐道法子年中無事ニ付来迎寺江上ル

六日　曇天

一従御奉行所御呼出ニ付勝負之儀二ケ
条之願之儀御聞届一統江御渡シ御触書
写帳面ニ写置候

一拙方年祝ニ付雑煮祝申候

七日　天晴

一七草之祝詳目出度ク祝申

一御年貢金所当年貢ニ付以飛脚
同文ト上ル御判形も御札ト上ル

一万端首尾御帰府ニ付月番名主迄御届申上
ト申役判致ス

八日　小雪天

一寄町名主衆市郎兵衛親老衰ニ付雑用節
去年取次役被仰付当春ゟ後役久保町嘉兵衛
三郎七兵衛尚又五人組

一名主八右衛門山三郎拙者ゟ立会祝雑煮御祝

一　一日市太左衛門へ与花山三郎今度被下衆

一　今晩ハ如例之通り夜ゟ夕方ゟ山三郎来ル九ツ

晩帰ル

九日　天気吉

一　宅ニ永満治兵衛久米宮ニ而御節句之席へ被致候一

一　昨稲葉右京亮殿ゟ

公儀御右　触候ニ付左之通写之

一　　　　　仙台道之御事

其方元家来共ニ被仰奉ニ柴谷粕（ウメ）甲　虚無僧友我（イウガ）

義不届有之者ニ付御渡之義伊井伊賀守へ越候ニ

不捕ニ罷ニ不依引合も有之ニ付奉行共ゟ申ニ依

味方共家政向不正ニ容易事先御吟

之於評定所兵庄体ニ家老仙台衆兼当方

家政ヲ古記身分不届之大君仰詰并改之誠

当方之罷ヲ為説奸計ヨリ以主人為命之下之

家来共ヨリ段評議之話ニ之体ゟ死罪当外仕置

ト付其文字被云御木戸之目之不軽不届

之様段之始末及白状済仕置之以仰付ニ政事

向之義当一之義共家来家政古記ニ在を

其外付候者之儀而聞済之上為度
之儀ニ付候而若衆之者共も右之者共以
高五万八千八十八石余之内城米金之積
弐万八千八拾八石余上之方石を被下

其方若年寄衆之事之御家老向之者河内
能登守中川修理大夫壱人ツヽ合之御用相勤おゐて
之右高給之被申渡

右之趣老中松平伯耆守宅於おゐて被仰渡

仰渡之事

十日　小雪六ツ半

十一日　曇

十二日　天気吉

一例年之通ニ新稲荷おゐて讀経被遊候ニ付すれ
算祝之為

一伊勢海老献上　宮仲間之外中田浦之船
在良等献上致候十人也其外若者共迄
散々ニ而　条文当　浜屋吉左衛門ニ而罷出ル

鱠（大コン スルメ）　汁（カブラ）　吸物（ドカウ）

平皿（焼トウフ）　飯　菓子椀（アセリ アワビ クワイ ニンジン 切イモ）　浸（砂手之席）

御酒　取肴　硯蓋（海苔ノ 巻ズシ）

一 右ハ松原亭ニ而畢飯后雑煮ヲ為祝ノ

十三日　天気吉

一 今日根来定右衛門殿御談判如穀文ゟ付候

神矢安ハ北四方小右衛門殿小児當役右七右

下目付渡辺遅七右衛門会市之丞小嶋

御立会有之同御談合ニ而神奈北ト北四方氏ト

当人也右之小原〃大殿如示ニ下ノ町村ニ右衛

上ノ丁中ノ丁寄村随分早速住村之右衛門

右之外重立候組合寄人位ニ而出

右ハ町屋五町丸御談判新之御審役ら住付右

御談判置之御談判之外ニ御丁寧ニ有之

十四日　天気吉

一 航船町々右衛門殿御出船候旧航出右衛門御吉事

付ニ而御中右衛門殿御船頭御見舞右衛門潮待

有之

一 右為根来定右衛門殿上ニ而御談判御談判之

有之候

一 岡本外記様御[illegible]府ゟ学[illegible] 佐州
十六日御[illegible]ニ付 山之市上り安[illegible]
十七日御勘定 和田源右衛門様御泊り
之御[illegible]府[illegible] 岡本様ハ三日市町御泊[illegible]

十五日 （風烈[illegible]）

一 岡本様御通行ニ付 山之市出府[illegible]御[illegible]本陣[illegible]
一 今[illegible]来[illegible]御泊り[illegible]
之上[illegible]村ニ相済[illegible] 十六日ニ来[illegible]寺泊

御事ニ[illegible] 御[illegible]相済候
十六日 雷[illegible]寺路
十七日 雷天
十八日 大雷雨

一 御泊り御役人 十六十七両日下[illegible]村々相済
之 城南之所 吉田町 [illegible]
[illegible]

一 御料所 西代 瀧村 [illegible]御[illegible]
如例年 [illegible]有之候

十九日　晴天

一 御高札之讀渡シ候新和光寺中町本町新
町西町両名主立会居合下町竹屋町有之
一 坂本蓋出馬之孫事一所江広之役差出候ニ付
出立伯渡之上之段筆付之規則も有之
處之守不知候付一ミ之後ニ上之儀済候ニも
無之候知揃罷出候而先出處ニ居候
無之御所ニ條付之者相之御沙汰不
之御いたし候任之参居之事相成候承知し

出入之者無之事相済御免有之

廿日　晴天　居前之節

一 御高札之讀渡新町西町居合久保町永井
町松本迄申立伯付先日八日之十町永
井町迄相済申候

廿一日　天気宜

一 右新十町名主寄合御役所永井町九兵衛
宅ニ而御高札之讀渡シ之所本町名主寄合補
兵安八私町名主相合郡右衛門役所

右候小以合下同様中日乞宿も出死而
被下候

一今日来迎寺へ松前町手習差支

一昨晩出石ニ而謁見熊谷山中町ニ川付之
手紙ニ来ル　廿了　雪ふ降

廿二日　小雪

一熊谷妙見社ニ而八幡祭礼ニ付頂戴
此拓奉方庭出張候ニ付文於之物件其清
中坊又兵衛条付候　松前町同居付添

一亀岡町高木氏中田氏由利六由利良由利助
其外船手札出張ニ付亀岡町高木屋ニ而歓待之
高木氏由利氏等今井之所ニ来掛候ニ付出立
致し候

廿三日　雪天風烈

廿四日　天気宜

一今般右之時清鏡寺役所人ニ而清閑寺席様ゟ
以別席ニ而清閑寺中銭清様御沙汰ニ而去年未
以後之ニ而如何納可申ニ付右ニ付御沙汰
御座候得共此一條ニ付当分清閑寺金

此迄ハ不快ニ罷在、付而引込届書差出ス
一 川引山之内引替候勘定之儀、左之通（丹子）
一件ニ付此方ニ付取調料御勘定済ニ付金壱朱
一 当年分之成箕稲束残高之上 値段上納之儀
相分り候年々不作ニ付大之在所村之差出ス
玉相懸り候旨宿年之来七ヶ村之差出し済候事
諸入用之分書通
（四月分）
一 御年貢米 弐百俵 （右限り相違無之 来三月中上納） 十ヶ所

廿五日 天気宜
一 清左衛門作方ニ付花々差上候
一 兵之助殿御留守中ニ付花并赤飯差出ス、右ニ付
佐兵衛方嫁女中右ニ付死去ニ付葬送
右ニ付若者共六人罷出候
右之外懸合八兵衛葬式相済候後、来月中
久保町ニ而御用付相済候所、小頭衆
月番ニ而相済候旨申入候

廿六日　天気吉

一　手習師匠葬式、山本氏修門ノ周吉連ん
是ハ付候
法名　釋尼妙雲　（年六十九才／俗名里ゑ）

廿七日　小雨

廿八日　曇天　風烈

廿九日　天気吉　当月（十五晴天／十日ヨリ雨）

一　宗門改帳外換合相済ノ后、旅籠小宿改帳へ移
置候、右ハ去年ノ改二月十日ニ於光明寺立会修
ノ后御代官村役人立会見分ニ付大事之前ノ改
ノ后月番ヘ届文右衛門支配下ニ而九付ル

二月大　月並　今井三左衛門

朔日　雪　彼岸ニ入ル

一　昨八年迄長澤氏初七日ニ当リ右忌中尼
寺ニ而花餅五斗おぼろ餅沢山五十五歳

一　当年是迄上巳初居白酒遊シ候
山本氏ヘ酒田舟ヘ仕法関合ノ知居ル